第３回和泉市福祉でまちづくり委員会　振り返り資料

【開催日時】　令和６年１月１７日（水）午後２時から午後４時

【議題】

第５次和泉市地域福祉基本計画・第５次和泉市地域福祉活動計画の素案について

【主な内容】

①第１回の振り返りを行い、委員からの提案とその対応を報告した。

②地域福祉活動計画策定までのスケジュールを伝えた。

③地域福祉計画・活動計画取り組み一覧表の内容について委員より意見をいただいた。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 提案 | その場対応 | 活動計画への反映 | 対応状況 | 対応済 |
| 第１回 | 活動計画及び市社協の活動の市民への周知 | 完成次第、地域（ワークショップ参加者）へお届けすると説明 |  | 完成次第、活動計画を届ける予定 | 済 |
| 地域福祉に関心を持ってもらうための活動（防災をテーマにするなど） | 活動計画への反映を検討 | 掲載 | 防災訓練、講習会、研修会を開催できるよう検討中  ⇒研修会や訓練について記載。地域福祉に関心をもってもらうため、広報周知の工夫をすることを記載。 | 済 |
| 地域から行政へボトムアップできる仕組みづくり | 活動計画への反映を検討 | 掲載 | 仕組みを検討中  ⇒「協議の場」の強化により、地域の情報を行政にあげやすくする。 | 済 |
| 市民と地域のつながりの強化 | 活動計画への反映を検討 | 掲載 | 居場所づくりの検討中  ⇒地域とのつながりの機会の創出について記載。 | 済 |
| 担い手の確保 | 活動計画への反映を検討 | 掲載 | 担い手講座の開催を予定  ⇒引き続き講座を開催することを記載。 | 済 |
| 市民への周知方法の工夫（動画やSNSなど） | 活動計画への反映を検討 | 掲載 | より周知できるよう、回覧板の工夫を検討中  LINEで周知をしている団体もある。モデル実施中  ⇒わかりやすい、見やすい表現にすることを記載。 | 済 |
| 第２回 | 取り組みについて地域がどう関わるのかイメージ図を作成する | イメージ図を掲載する。  （吉田副市長）市や市社協、その他団体が使用できる統一した市民を中心としたイメージ図とする。 | 掲載 | 市民を中心としたイメージ図を作成中 | 済 |
| 地域福祉計画と地域福祉活動計画を１冊にまとめる | これから議論する |  | ２つの計画を１つにします | 済 |
| 情報伝達方法の見直し | 計画への反映を検討 | 実施 | 市社協と校区社協とで、計画をどう周知し進めていくかを話し合っている。 | 済 |
| 町会・自治会、校区社協が合同で活動する | 計画への反映を検討 | 掲載 | 基本目標1「包括的で身近な相談、支援の仕組みづくり」に『協議の場』の充実について記載。町会・自治会、校区社協が協働し活動を充実させていくねらい | 済 |
| 公的サービスで賄えない日常生活支援をどう支えるかを今後５年間で検討すること | 計画への反映を検討 | 掲載 | 「日常生活支援の強化意識の向上(地域包括ケアシステムの構築)」という取り組みを記載。 | 済 |
| 子どもや引きこもりの人等を受け入れる市民の意識の醸成 | 計画への反映を検討 | 掲載 | 地域共生社会の主役が地域住民であることの「住民の意識改革」という取り組みを記載。 | 済 |
| 自助・互助・共助・公助の整理について | （吉田副市長）本日の議論を踏まえて（互助）は使わず、自助・共助・公助で整理する。 | 掲載（修正） | 「互助」という言葉は使わず、自助・共助・公助と記載。 | 済 |
|  | 子どもの居場所、障がい者の居場所について | 居場所についてはハード面とソフト面のこととネットワークの居場所があるので整理しながら事務を進めていきたい。 | 掲載 | 基本目標２「切れ目ない・こぼれない支援の仕組みづくり」の取り組みとして、「拠点整備」「居場所づくりへの支援」を記載。 | 済 |
| 自助・共助・公助の連携について | （吉田副市長）新年度からしっかり議論して５年がかりで、みんなが協力して、この地域福祉を盛り上げていくっていう形を築いていきたい。 | 掲載 | 基本目標５「地域共生社会の実現に向けての機運醸成、意識改革、体制整備、議論の場」の取り組みとして「『自助、共助、公助』の連携」を記載。 | 済 |
| 第３回 | 地域福祉計画から地域福祉基本計画になった理由 | 社協の活動計画に対して、マスタープランなどで基本を追加した | 実施 | 計画の名称を変更し、和泉市地域福祉基本計画・活動計画」とした | 済 |
|  | 音声対応、点字対応について | いずれも検討します | 準備中 | 計画の各ページに音声コードを準備中 |  |
|  | 自助、共助、公助の表現が一目で分かりにくい。  図で表現してはどうか。 | 分かりやすい表現になるよう検討します | 掲載 | Ｐ24「ささえあいのケーキモデル」を掲載し、自助、共助、公助の概念が分かりやすいよう工夫。  また、具体例を示す「公助・共助・自助の表」を令和６年度で議論を重ね作成する | 令和６年度持ち越し |
|  | 計画の住民への周知について、校区ごとにポイントとなる部分だけをまとめて別で作成して渡してはどうか。 | （吉田副市長）一部抜粋し強調したものを、校区ごとに活用することは可能 | 実施予定 | （社協）  一部抜粋したものを作成し、周知方法を各校区と話し合い決めていく | 済 |
|  | 情報発信の方法やツールを工夫してほしい。  多様な方法で複数回周知する必要がある。  社協いずみの紙面をより分かりやすくしてほしい。  校区新聞の作成、LINEでの発信等  障がい者や高齢者など多様な対象に伝わるように | （吉田副市長）  周知方法の具体案がまとまるように、発信者同士で連携することが大切。 |  | 社協いずみの紙面を工夫する。  LINEで発信予定。  他の方法についても、連携しながら検討していく。 | 済 |
|  | 地域特性に応じたアクションプランづくり | 校区毎にアクションプランに盛り込む内容を検討しています | 掲載 | 校区毎でアクションプランを作成し掲載 | 済 |
|  | 外国人の孤立問題の議論をしていってほしい | 来年度からの議論テーマとして検討 |  | 来年度からの議論テーマとして検討 | 令和６年度持ち越し |
|  | 誰もが担い手となれるよう、「ささえられる側」も担い手となるまちづくりをしてほしい |  | 掲載 | 基本目標3「多様な主体どうしの連携による担い手・社会資源の拡充」に具体的取り組みを記載 | 済 |
|  | 表現の統一 | 修正します |  | 計画策定前に確認し修正 | 済 |